



# 一般社団法人 日本土壌肥料学会 2014 年度（第 37 回）通常総会

[2014 年 4 月 4 日（金）13 時 00 分～14 時 00 分 学士会館]

## 次 第

開会

会長挨拶

議長選出

議 事

第 1 号議案 2013 年度事業報告、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告

第 2 号議案 2014 年度事業計画案および収支予算案

第 3 号議案 名誉会員の推薦

第 4 号議案 総会議事録署名人の選任

その他 2014 年度年次大会（東京）の開催について

閉 会

# 一般社団法人 日本土壌肥料学会 2014 年度通常総会

## 議 事

### 第 1 号議案 2013 年度事業報告、収支決算報告、公益目的支出計画 実施報告および監査報告

#### I. 2013 (平成 25) 年度事業報告 (平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

##### 1. 定期刊行物および資料の刊行

###### (1) 定期刊行物

- 1) 日本土壌肥料学雑誌 (会誌) は、第 84 巻第 2 号～6 号、第 85 巻第 1 号の計 6 冊を刊行し、各号 3,000 部を刊行した。掲載した論文数等は次のとおりである。報文 19 編、ノート 12 編、技術レポート 11 編、講座 11 編、解説 1 編、総説 1 編、資料・国内外情報 18 編、学会賞受賞論文要旨 3 編、技術賞受賞論文要旨 1 編、奨励賞受賞論文要旨 5 編、技術奨励賞受賞論文要旨 2 編、SSPN Award 受賞論文 1 編、ニュース (地域の動きを含む)、書評、欧文誌 Vol.59 掲載論文要旨、合計 510 頁、ほかに第 84 巻総目次、キーワード索引、著者名索引、会員消息、会誌投稿規定、原稿執筆規定、編集委員会だより等。
- 2) SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION は、Vol.59, No.2～No.6 および Vol.60, No.1 の計 6 冊を刊行した。掲載した論文数等は、報文 81 編、短報 10 編、総説 1 編、会誌報文抄録等、合計 964 頁となった。欧文誌の配布数は、名誉会員 10、正会員 385 (うち海外 20)、学生会員 69 (うち留学生 59)、国内寄贈・交換 6、海外寄贈・交換 22 等であった。
- 3) 日本土壌肥料学会講演要旨集 (第 59 集、313 頁) 900 部を 2013 年度名古屋大会に際して刊行した。

###### (2) その他の刊行物

学会編シンポジウムシリーズとして、「土壌分類とインベントリー」を博友社より出版した (2014.2.28)。

##### 2. 講演会および研究会等の開催

###### (1) 「土と肥料」の講演会

4 月 4 日の通常総会終了後に学士会館において「土と肥料」の講演会を開催した。なお、本講演会は日本学術会議の後援を受けて実施した。講演者および講演題目は、馬建鋒氏 (岡山大学資源植物科学研究所教授) 「植物におけるミネラル輸送機構—輸送体の同定で解き明かされる植物栄養の仕組み」であった。

###### (2) 2013 年度年次大会等

- 1) 名古屋大学（東山キャンパス）において年次大会を開催した（2013.9.11～13）。  
口頭発表は 338 課題、ポスター発表は 220 課題、合計 558 課題であった。年次大会への参加者は 843 名であった。
- 2) シンポジウムは、以下に示す 4 つのテーマ、大会公開シンポジウムおよび日本学術会議・日本農学アカデミーとの合同公開シンポジウムを実施した。
  - 1,2,3,8 部門：「土壌団粒構造と土壌プロセス」
  - 4 部門：「菌根共生からみる植物栄養の新時代」
  - 1,2,3 部門：「土壌における界面電気現象と農業・環境～基礎から応用まで～」
  - 1,3,4,8 部門：「FACE to FACE：気候変動影響に立ち向かう土壌肥科学と作物学」
  - 大会公開シンポジウム：「正しく知ろう、土壌と作物の放射性セシウム提言への取り組み」
  - 合同公開シンポジウム：「復興農学－東日本大震災からの復興への土壌科学の貢献と課題」
- 3) ミニシンポジウムは、以下に示す 3 つのテーマについて実施した。昨年に引き続き、放射性セシウム関連の発表数は 17 課題と多く、活発な論議がなされた。
  - 8 部門：「土壌の放射性セシウム保持力の評価と応用」
  - 8 部門：「土壌管理による放射性セシウムの移行抑制」
  - 9 部門：「海外の土壌教育の報告から日本の土壌教育を考える」
- 4) 名古屋大学豊田講堂において、以下の講演が行われた（2013.9.12）。
  - 第 58 回日本土壌肥料学会賞受賞者
    - ・河合成直：イネ科植物の鉄溶解活性物質ムギネ酸類の合成分泌に関する生理生化学的研究
    - ・櫻井克年：東・東南アジアの土壌生態環境および機能の評価と修復
    - ・塚田祥文：農作物への放射性核種の移行と分布に関する研究
  - 第 18 回日本土壌肥料学会技術賞受賞者
    - ・上菌一郎：生産現場で実施可能な畑土壌可給態窒素の簡易評価法の開発
    - ・金田吉弘：重粘土水田の汎用化促進と水稻安定生産のための土壌管理・施肥技術の開発
  - 第 2 回日本土壌肥料学会貢献賞受賞者
    - ・福田 直：小・中・高等学校等への土壌教育の推進
  - 平成 25 年度日本農学賞・読売農学賞受賞記念講演
    - ・米山忠克：植物生産を担う窒素代謝と篩管移行の研究
  - 特別講演
    - ・Prof. Dr. Jae Yang (IUSS 会長)；Soils Embrace Life and Univers：The 20<sup>th</sup> WCSS and Future Research Needs（土壌は生命と宇宙を抱擁する；第 20 回世界土壌科学会議と今後の研究ニーズ）
- 5) 第 31 回日本土壌肥料学会奨励賞受賞者（当真 要、バシル クーラム、三輪京子、山地直樹、渡邊健史）及び第 2 回日本土壌肥料学会技術奨励賞受賞者（伊藤正志、

佐野修司)の記念講演については、名古屋大会一般講演会場で行われた。

- 6) 日本土壌肥科学雑誌論文賞受賞者(中尾 淳・武田 晃・塚田祥文・舟川晋也・小崎 隆)及び SSPN Award 受賞者(Kenta IKAZAKI・Hitoshi SHINJO・Ueru TANAKA・Satoshi TOBITA・Shinya FUNAKAWA・Takashi KOSAKI、Farzana DIBA・Mariko SHIMIZU・Ryusuke HATANO)については、名古屋大会ポスター会場に受賞記念ポスターを展示した。

### (3) 2013 年度支部大会

- ・北海道支部：平成 25 年度秋季支部大会講演会(29 題)、第 60 回北海道土壌肥料懇話会シンポジウム(5 題) 2013.12.4～5 於道民活動振興センター(かでの 2・7)(札幌市)
- ・東北支部：支部大会(一般公演 8 題、ポスター発表 27 題、学会賞・技術賞・技術奨励賞受賞記念講演、公開シンポジウム) 2013.7.8～9 於福島県農業総合センター(郡山市)
- ・関東支部：支部大会(46 題、公開特別講演 2 題) 2013.12.7 於東京大学農学部 1 号館(東京都文京区)
- ・中部支部：第 94 回支部例会(19 題) 2014.3.11 於名城大学天白キャンパス(名古屋市)
- ・関西支部：支部講演会(42 題) 2013.11.28 於 KKR あさくら(山口市)
- ・九州支部：春季例会(一般公演 21 題、特別講演 1 題) 2013.4.22～23 於佐賀大学本庄キャンパス(佐賀市)、秋季例会(一般公演 12 題、九州支部賞受賞記念講演 2 題) 2013.10.2～3 於ホルトホール大分(大分市)

### (4) その他

- ・「第 28 回近赤外フォーラム(2013.3.6～9)」を後援した。
- ・「第 26 回環境工学連合講演会(2013.4.18～19)」を共催した。
- ・「第 50 回アイソトープ・放射線研究発表会(2013.7.3～5)」を共催した。
- ・「第 23 回環境工学総合シンポジウム(2013.7.10～12)」を協賛した。
- ・「日本学術会議育種学分科会公開シンポジウム 気候変動がもたらす農林業への影響とその対策を考える(2013.7.12)」を後援した。
- ・「高校生のための実験教室 バイオサイエンス・スクール(2013.8.7～8)」を共催した。
- ・「第 57 回粘土科学討論会(2013.9.4～6)」を共催した。
- ・「第 8 回高崎量子応用研究シンポジウム(2013.10.10～11)」を協賛した。
- ・「第 18 回国際窒素固定会議(2013.10.14～18)」を共催した。
- ・「農研機構・中央農研 水稻作における施肥コスト低減に向けた技術普及研究会ーリン酸・カリの減肥指針と肥料成分の見直しー(2013.10.30)」を後援した。
- ・「平成 25 年度農研機構シンポジウム 地域資源を活用した効率的施肥技術による資源循環型作物生産(2013.10.31)」を後援した。
- ・「第 5 回国際 O-CHA 学術会議(2013.11.6～8)」を後援した。

- ・「平成 25 年度農研機構シンポジウム 田畑輪換と地力ー今、水田土壌で何がおこっているか・・・それを克服するためには (2013.11.20)」を後援した。
- ・「第 29 回腐植物質学会講演会 (2013.11.21~22)」を後援した。
- ・「第 29 回近赤外フォーラム (2013.11.27~29)」を後援した。
- ・「エコプロダクツ 2013 (2013.12.12~14)」に出展した。

### 3. 研究の奨励および研究業績の表彰

10 月 18 日に選考委員会を開催し、日本土壌肥料学会賞、同技術賞、同奨励賞、同技術奨励賞、同貢献賞、論文賞および SSPN Award の受賞者が以下のとおり選定された。

- ・ 第 59 回日本土壌肥料学会賞受賞者
  - 太田寛行：土壌細菌の分類および群集解析に関する研究
  - 加藤英孝：黒ボク土におけるイオン吸着・移動過程に関する研究
  - 平館俊太郎：核磁気共鳴法を利用した土壌中における元素動態の解明
- ・ 第 19 回日本土壌肥料学会技術賞受賞者
  - 内山知二：植物を介した土壌改良技術の評価と応用
- ・ 第 32 回日本土壌肥料学会奨励賞受賞者
  - 伊ヶ崎健大：西アフリカ・サヘル地域における砂漠化の現状評価とそれに基づく省力的対処技術の開発および普及
  - 池谷康祐：各種分解・分光分析による土壌フミン酸の化学構造解析
  - 片柳薫子：観測地と数理モデルに基づく農林地生態系温室効果ガス排出量の広域評価
  - 神谷岳洋：植物の無機元素の輸送と耐性の分子機構の解明
  - 高田裕介：広域的なデジタル土壌情報の整備とその利活用法に関する研究
- ・ 第 3 回日本土壌肥料学会技術奨励賞受賞者
  - 山本幸洋：農耕地土壌における農薬の動態解明と農薬による硝酸化成阻害に関する研究
- ・ 第 3 回日本土壌肥料学会貢献賞受賞者
  - 藤原基次：土壌・作物体分析機器の開発・提供による土壌肥料関連分野の研究発展支援ならびに長年にわたる学会活動支援
- ・ 日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞者
  - 坂口 敦・加藤英孝・家田浩之・中野恵子：土壌特性・土層構成に基づく利根川下流域内農耕地における硝酸イオンの地下水到達時間の面的推定  
土肥誌第 84 巻 2 号、90-99 (2013)
  - 藤原伸介・澤田寛子・田中福代・大脇良成・藤山正史・渡邊大治：長崎県水稻葉枯症ー水稻への窒素負荷と葉枯障害との関係ー 土肥誌第 83 巻 6 号、637-646 (2012)
- ・ SSPN Award 受賞者

Mizuhiko NISHIDA · Hiroyuki SEKIYA · Koji YOSHIDA : Status of paddy soils as affected by paddy rice and upland soybean rotation in northeast Japan, with special reference to nitrogen fertility Soil Sci. Plant Nutr., 59(2), 208-217 (2013)

#### 4. 内外の研究者、技術者、他学会等との連絡および協力

##### (1) 日本農学会関係

- ・平成 25 年度日本農学会シンポジウム（統一テーマ：農学イノベーションー新しいビジネスモデルと食・農・環境における技術革新ー）が東京大学弥生講堂で開催された（2013.10.5）。

##### (2) 日本学術会議関係

- ・日本学術会議土壌科学分科会・日本農学アカデミー・日本土壌肥料学会主催の公開シンポジウム「復興農学ー東日本大震災からの復興への土壌科学の貢献と課題」が開催された（2013.9.13）。

##### (3) IUSS、ESAFS 関係

- ・WCSS のプレコングレスツアー関係他の打ち合わせ会議（2013.3.27-28 ソウル）に犬伏和之理事と大倉利明氏（農環研）を派遣した。
- ・GSP (Global Soil Partnership) 総会（2013.6.13）において当会が推薦した八木一行氏（農環研）の GSP-ITPS (Intergovernmental Technical Panel on Soils) 委員への就任が承認された。
- ・第 1 回世界土壌図会議（2013.10.7~9 フランス）に大倉利明氏（農環研）を派遣した。
- ・名古屋大会に Prof. Jae Yang 氏 (President of IUSS) を招聘した（2013.9.12）。
- ・IUSS Division and Commission Officers 2014-2018 の選挙が行われ、当学会より推薦した候補者のうち 8 名が Chair あるいは Vice Chair に選出された。
- ・中国、武漢において開催された第 21 回国際環境生物地球化学シンポジウムに代表者を派遣した（2013.10.13~18）。
- ・ボゴール（インドネシア）において開催された第 11 回 ESAFS に代表者を派遣した（2013.10.21~24）。
- ・IUSS の DIVISION、COMMISSION、WG 名の公定訳（案）を日本学術会議 IUSS 分科会に提出した。

##### (4) 定期刊行物の寄贈・交換

内外の研究機関に対して定期刊行物を寄贈・交換した。

- ・日本土壌肥料学雑誌 国内 10、国外 14
- ・SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION 国内 6、国外 20

#### 5. 本学会の委員会等活動

##### (1) 企画委員会

企画委員会では、「土と肥料」の講演会を企画し、学士会館で開催した(2013.4.4)。次年度も、例年どおり 2014 年度第 37 回総会后 (2014.4.4) に日本学術会議の後援を受けて「土と肥料」の講演会を開催する。

## (2) 土壌教育委員会

- ・平成 25 年度第 54 回科学技術週間のイベントとして「親と子の土の教室—土のふしぎを発見しよう」を埼玉県立川の博物館で開催した (2013.4.21)。
- ・小学校・中学校・高等学校教諭等を対象とした土壌研修会を埼玉県立川の博物館で開催した (2013.5.21)。
- ・日本大学 (藤沢市) において、(公社) 日本農芸化学会関東支部主催の「高校生のための実験教室 バイオサイエンス・スクール 2013」を日本大学生物資源科学部生命化学科とともに共催した (2013.8.7~8)。
- ・名古屋大会においてミニシンポジウム「海外の土壌教育の報告から日本の土壌教育を考える」並びに「高校生ポスター発表」を開催した (2013.9.11)。
- ・(独) 科学技術振興機構発行の「Science Window 特集 土と生命」に協力した。
- ・「土壌の観察・実験テキスト—自然観察の森の土壌断面集つきー」を発行した (2014.2.28)。

## (3) 事務所移転推進委員会

- ・財政基盤整備委員会を中心にメンバーを拡充し、事務所移転推進委員会を設置した。
- ・物件の選定に当たっては、①現状以上の面積、②移転先は文京区内 (定款第 1 章第 2 条) を基本とし、③賃貸/購入のいずれにするかについては比較的新しい販売物件がほとんど無いことから賃貸物件とすることを確認した。当面の作業として、不動産屋・オフィス移転業者の情報収集等を実施したが、年度内の移転は困難であり、次年度に実施することとした。

## (4) 広報委員会

- ・学会のロゴマークについて Web で公募し、会員による投票によって選定した。
- ・学会紹介パンフレットの作成についても検討中である。
- ・「エコプロダクツ 2013」にテーマ「土の不思議」を出展した (2013.12.12~14)。

## 6. 会務報告

### (1) 会員の動向

1) 2014 年 2 月末における会員数は次のとおりである。

正会員 1,946 名 (うち会費免除会員 98 名、外国正会員 43 名)、賛助会員 47 社、名誉会員 11 名、学生会員 320 名 (うち留学生 55 名)、国内団体購読会員 115 団体 合計 2,439 名

2) 2013 年度中の入退会者数は次のとおりである。

入会：正会員 56 名、学生会員 125 名、賛助会員 1 団体 合計 182 名

退会：正会員 120 名 (うち会費免除会員 4 名)、学生会員 152 名、国内団体購読

会員 3 団体 合計 275 名

(2) 会議

- 1) 総会：2013 年 4 月 4 日、学士会館において第 36 回通常総会が開催された。本総会においては、①2012 年度事業報告、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告、②2013 年度事業計画案および収支予算案、③役員の新任・退任の承認、④基本財産額の変更、⑤総会議事録署名人の選任について審議され、各議案とも、原案どおり議決または承認された。その議事録を会誌 84 巻第 3 号に掲載した。
- 2) 理事会：学士会館において 1 回、学会事務所において 7 回開催され、所要の事項・会務を報告・審議した。その議事録を会誌のニュース欄に掲載した。主要な議題としては、理事の任務分担、論文賞・SSPN Award 選考内規の改訂、事務所移転推進委員会の設置、欧文誌編集委員選出に関する内規、学会賞等選考結果の承認、進歩総説のテーマ総説への変更、学会ロゴマークの公募・選定、若手会員海外渡航費の支援、2013 名古屋大会の決算、2014 東京大会の予算案、女性・若手会員支援事業積立金支出に関する内規の一部改訂、部会の再編、共催・後援・協賛等の申請、細則 23 条による会費免除の申請、入退会者の承認等について審議し、実施してきた。
- 3) 部門長会議：①第 1 回部門長会議（2013.4.4）では、名古屋大会の準備状況について渡邊大会運営委員長より報告がなされた。口頭発表・シンポジウム・ポスター授賞式・記念講演会の会場として、名古屋大学東山キャンパスの IB 電子情報館・ES 総合館・シンポジオン・豊田講堂等が確保されている。ポスターについては、230 枚程度は展示が可能である。シンポジウムについては、初の試みであるが、テーマを公募し、4 件のシンポジウムを準備している。その他、大会運営委員会から公開シンポジウム 1 件、日本学術会議土壌科学分科会・日本農学アカデミーとの共催で公開シンポジウム 1 件が開催されることとなった。②第 2 回部門長会議（2013.6.8）においては、名古屋大会のプログラム編成、ポスター賞の選考基準、博友社からの出版、部門別進歩総説のあり方等について検討された。③第 3 回部門長会議（2013.11.8）においては、東京大会でのシンポジウムも名古屋大会と同様に一般公募すること、部門長会議提案総説のテーマを「塩害」とすること、議長・副議長の交代等が審議された。
- 4) 2013 年度学会賞等選考委員会：学会事務所において、会長を議長として開催され、第 59 回日本土壌肥料学会賞、第 19 回日本土壌肥料学会技術賞、第 32 回日本土壌肥料学会奨励賞、第 3 回日本土壌肥料学会技術奨励賞および第 3 回日本土壌肥料学会貢献賞の受賞者を選考した（2013.10.18）。その結果は第 5 回理事会（2013.10.19）での承認を経て、会誌 84 巻第 6 号に掲載した。また、同日午前、学会事務所において、論文賞選考委員会を開催し、日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞論文と SSPN Award 受賞論文を選考した。その結果も第 5 回理事会での承認を経て、会誌 84 巻第 6 号に掲載した。



5) 会誌編集関係：常任編集委員会を6回、地域担当編集委員との合同編集委員会を1回開催した。①投稿状況については、投稿数が増えつつあり順調である。②放射能特集号の企画をしている。内容は研究論文形式ではなく総説的にまとめることとしており、掲載時期は2014年2号を予定している。③各地域の農業・土壌肥料に関する情勢をお知らせする「地域の動き」の再開を検討中である。

6) 欧文誌編集関係：新旧合同編集委員会を名古屋大会中に開催した。①SSPN 投稿・編集状況が報告された。投稿数は1月から12月までに386編と、前年と同様、かなり多い状況である。②SSPN 特集号・特集シリーズとして、土壌劣化、ホウ素、iLEAPS、放射能汚染および都市域土壌の5件が企画されており、原稿の募集・編集が進められている。

#### 7) 支部における会議

北海道支部：第1回支部評議員会（2013.6.11 北海道大学）が開催された。

第2回支部評議員会および支部総会（2013.12.4 札幌市道民活動支援センターか  
でる2・7）が開催された。

東北支部：支部総会（福島県農業総合センター 郡山市 2013.7.8）が開催された。

関東支部：支部幹事会および総会（東京大学農学部 2013.12.7）が開催された。

中部支部：152回支部評議員会（名古屋国際センター 2013.5.21）が開催された。

153回支部評議員会および74回支部総会（名城大 2014.3.11）が開催された。

関西支部：関西土壌肥料協議会との共催による役員会（KKR 山口あさくら  
2013.11.28）が開催された。

九州支部：支部総会、常議員会および2013年度支部賞選考委員会（佐賀大学  
2013.4.22）が開催された。

#### (3) その他

- ・若手会員の海外学会等の参加渡航費補助金支給者の選考を行い、前期5名、後期5名、合計10名の支援者を決定し、渡航費の一部を支援した。
- ・2015年度年次大会は舟川晋也氏（京都大）を大会運営委員長とし、2015年9月9日（水）～11（金）、京都大学吉田キャンパスにおいて開催することを決定した（2013.12.21）。

## II. 2013（平成 25）年度事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書として記載すべき事項はない。

### Ⅲ. 2013(平成 25)年度収支決算報告書

#### 事業活動収支の部

事業活動収入は予算額より 174 万円減の 5,298 万円であった。予算額に対して増加割合の大きな収入項目は、③事業収入／印刷物収入／欧文誌投稿料・別刷り代等、同／支部大会収入、⑧雑収入であり、なかでも欧文誌投稿料・別刷り代等は予算額を 300 万円超えた。一方予算額に対して減少割合の大きな項目は、②会費収入および③事業収入／大会収入であり、前者のうちの正会員会費は予算額よりも 363 万円少なかった。

事業活動支出は予算額より 1,130 万円減の 4,623 万円であった。予算額に対して増加割合の大きな支出項目は、①事業費支出／農学会等分担金、②管理費支出／印刷製本費、同／租税公課、同／雑費であった。このうち農学会等分担金は日本農学会会費等、印刷製本費は定款・細則集の印刷、租税公課は消費税納付、雑費は会計ソフト更新に基づく支出増によるものである。一方予算額に対して減少割合の大きな項目は、①事業費支出／年次大会開催費、同／会誌刊行費、同／欧文誌刊行費、同／国際交流費、同／HP 管理費、②管理費支出／業務委託費であった。このうち年次大会開催費は、会場費、人件費、運営費が共に予算額に達しなかったことによる。会誌刊行費ならびに欧文誌刊行費は、いずれも編集費が想定額を下回ったことによる。国際交流費は、海外旅費が予測よりも低額であったことによる。業務委託費は、事務所移転業務を実施しなかったことによる。

この結果、事業活動収支差額は、674 万円であった。

#### 投資活動収支の部

投資活動収入は 3,604 万円であった。これは基本財産の取崩収入であり、前年度総会決議に基づき基本財産額 4,604 万円を 1,000 万円に減額したことによるものである。

投資活動支出は 3,640 万円であった。これは特定資産のうちの国際会議準備積立金、女性・若手会員支援事業積立金、表彰事業積立金、建物改築・移転等積立金のそれぞれの額の改定、ならびに退職給付引当金の積立による支出によるものである。

この結果、投資活動収支差額は－36 万円であった。

以上の結果、2013 年度の収支差額は 638 万円となり、前期繰越金 2,756 万円と合わせ、次年度への繰越収支差額は 3,394 万円となった。

## (一社) 日本土壌肥料学会2013年度収支計算書

2013(平成25)年3月1日から2014(平成26年)2月28日まで

1/3

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	2,000	672	1,328	
基本財産利息収入	(2,000)	(672)	1,328	
② 会費収入	32,650,000	28,325,000	4,325,000	
入会金	(600,000)	(609,000)	△ 9,000	3,000円×203人
正会員	(22,000,000)	(18,366,000)	3,634,000	10,000円×1,837人
学生会員	(1,800,000)	(2,042,000)	△ 242,000	6,000円×340人
団体会員	(2,800,000)	(2,400,000)	400,000	20,000円×120団体
欧文誌購読会員	(2,700,000)	(2,208,000)	492,000	6,000円×368人
賛助会員	(2,750,000)	(2,700,000)	50,000	50,000円×64口
③ 事業収入	20,057,000	22,616,479	△ 2,559,479	
印刷物収入	12,280,000	14,616,379	△ 2,336,379	
会誌委託販売	(1,200,000)	(1,224,720)	△ 24,720	2,160円×567冊
会誌投稿料・別刷り代等	(2,700,000)	(2,504,130)	195,870	84巻2号～85巻1号
会誌バックナンバー等	(10,000)	(0)	10,000	
欧文誌委託販売	(3,500,000)	(3,140,231)	359,769	Taylor & Francis
欧文誌投稿料・別刷り代等	(4,640,000)	(7,641,073)	△ 3,001,073	Vol. 59 No. 2～Vol. 80 No. 1
欧文誌バックナンバー等	(10,000)	(0)	10,000	
講演要旨集(大会外)	(15,000)	(3,500)	11,500	3,500円×1冊
その他印刷物	(5,000)	(0)	5,000	
出版物印税	(200,000)	(102,725)	97,275	博友社印税
大会収入	6,977,000	6,410,600	566,400	名古屋大会
参加料	(3,597,000)	(3,205,500)	391,500	
発表料	(580,000)	(550,000)	30,000	1,000円×550題
講演要旨集(大会時)	(2,800,000)	(2,655,100)	144,900	3,500円×758冊
広告料	800,000	787,500	12,500	
支部大会収入	0	802,000	△ 802,000	支部大会
④ 補助金収入	0	0	0	
⑤ 助成金収入	0	0	0	
⑥ 寄付金収入	0	0	0	
⑦ 受託収入	1,915,200	1,075,200	840,000	首都大学東京より
⑧ 雑収入	95,000	960,367	△ 865,367	
受取利息	(25,000)	(19,571)	5,429	
その他雑収入	(70,000)	(696,089)	△ 626,089	情報システム研究機構連立会、学術著作権協会、郵政通信、他
支部雑収入	(0)	(244,707)	△ 244,707	支部への賛助金、他
事業活動収入計	54,719,200	52,977,718	1,741,482	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	34,583,181	28,038,804	6,544,377	
年次大会開催費	7,373,181	6,334,488	1,038,693	名古屋大会
会場費	(1,183,636)	(841,658)	341,978	
人件費	(960,000)	(819,500)	140,500	
運営費	(890,000)	(514,585)	375,415	
年次大会管理費	(2,570,620)	(2,465,305)	105,315	管理業務委託費 近畿日本7-921
大会関係印刷費	(1,768,925)	(1,693,440)	75,485	講演要旨集印刷代等
会誌刊行費	13,200,000	11,214,155	1,985,845	84巻2号～85巻1号
印刷製本費	(10,000,000)	(9,070,896)	929,104	
通信運搬費	(2,000,000)	(2,121,909)	△ 121,909	
編集費	(1,200,000)	(21,350)	1,178,650	

次頁(2/3)へ続く

## 2/3 前頁 (1/3) からの続き

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
欧文誌刊行費	5,310,000	4,259,108	1,050,892	
印刷製本費	(3,600,000)	(3,223,115)	376,885	
通信運搬費	(10,000)	(0)	10,000	
編集費	(1,700,000)	(1,035,993)	664,007	Vol.59 No.2~Vol.60 No.1
各種委員会等運営費	690,000	797,588	△ 107,588	日本農芸化学会関東支部主催BSS共催金 (土壤教育委)他
学術交流費	100,000	20,000	80,000	エコプロダクツ出張費用
国際交流費	1,000,000	509,788	490,212	会長ESAFS派遣等
事業関係通信運搬費	200,000	192,784	7,216	振込手数料等
事業関係雑費	280,000	189,000	91,000	三崎梱包社
事業関係業務委託費	800,000	0	800,000	受託事業のうちの業務委託(英文校閲等)
農学会等分担金等	270,000	372,050	△ 102,050	日本農学会等
HP管理費	400,000	152,250	247,750	
顕彰費	1,010,000	750,000	260,000	学会賞、技術賞、論文賞、貢献賞、SSPN Award副賞 図書券 他
女性・若手支援費	1,500,000	1,065,510	434,490	奨励賞、技術奨励賞、渡航費支援、大会時託児所
国際シンポジウム費	950,000	950,000	0	第18回国際野菜園定会議
支部大会開催費	1,500,000	1,232,083	267,917	
② 管理費支出	22,948,000	18,195,396	4,752,604	
役員報酬	2,400,000	2,400,000	0	
給料	3,400,000	3,305,600	94,400	
法定福利費	150,000	42,897	107,103	労働保険料
福利厚生費	600,000	488,491	111,509	社会保険料
臨時雇い賃金	900,000	481,000	419,000	
会議費	350,000	374,189	△ 24,189	
総会	(200,000)	(269,551)	△ 69,551	学士会館会場費
理事会	(130,000)	(9,535)	120,465	
部門長会	(0)	(4,800)	△ 4,800	
編集委員会	(0)	(4,200)	△ 4,200	
その他会議費	(20,000)	(86,103)	△ 66,103	会計監査、学会賞等選考委員会、支部会議等
旅費・交通費	4,500,000	3,888,526	611,474	
通信運搬費	1,000,000	707,211	292,789	
什器備品費	300,000	0	300,000	
消耗品費	400,000	110,033	289,967	
印刷製本費	400,000	545,695	△ 145,695	総会資料、定款・細則集等
光熱水料費	150,000	171,148	△ 21,148	
修繕費	200,000	168,000	32,000	
負担費	78,000	79,200	△ 1,200	
リース料	720,000	753,060	△ 33,060	PC、コピー機等
保険料	20,000	12,320	7,680	
租税公課	300,000	552,678	△ 252,678	消費税、法人住民税、固定資産税
業務委託費	7,000,000	3,954,239	3,045,761	会計業務、アレス他
為替差損	0	0	0	
雑費	80,000	161,109	△ 81,109	会計ソフトウェア更新等
事業活動支出計	57,531,181	46,234,200	11,296,981	
事業活動収支差額	△ 2,811,981	6,743,518	△ 9,555,499	

次頁 (3/3) へ続く

3/3 前頁 (2/3) からの続き

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
<b>II. 投資活動収支の部</b>				
<b>1. 投資活動収入</b>				
① 基本財産取崩収入	0	36,039,000	△ 36,039,000	
② 特定資産取崩収入	0	0	0	
国際会議準備金積立金取崩収入	(0)	(0)	0	
会誌進歩総読積立金取崩収入	(0)	(0)	0	
女性・若手会員支援事業積立金取崩収入	(0)	(0)	0	
表彰事業積立金取崩収入	(0)	(0)	0	
建物改築・移転等積立金取崩収入	(0)	(0)	0	
③ 固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	36,039,000	△ 36,039,000	
<b>2. 投資活動支出</b>				
① 基本財産取得支出	0	0	0	
② 特定資産取得支出	0	36,403,003	△ 36,403,003	
国際会議準備金積立金支出	(0)	(8,996)	△ 8,996	
会誌進歩総読積立金支出	(0)	(0)	0	
女性・若手会員支援事業積立金支出	(0)	(92,777)	△ 92,777	
表彰事業積立金支出	(0)	(577,230)	△ 577,230	
建物改築・移転等積立金支出	(0)	(35,524,000)	△ 35,524,000	
退職給付引当積立金支出	(0)	(200,000)	△ 200,000	
③ 固定資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	36,403,003	△ 36,403,003	
投資活動収支差額	0	△364,003	364,003	
<b>III. 財務活動収支の部</b>				
<b>1. 財務活動収入</b>	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
<b>2. 財務活動支出</b>	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
<b>IV. 予備費支出</b>	0	0	0	
当期収支差額	△2,811,981	6,379,515	△ 9,191,496	
前期繰越収支差額	20,612,482	27,559,260	△ 6,946,778	
次期繰越収支差額	17,800,501	33,938,775	△ 16,138,274	

**貸借対照表**  
2014(平26)年2月28日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	44,445,380	39,719,122	4,726,258
預け金	0	0	0
仮払金	510,000	510,000	0
未収金	6,753,909	5,476,277	1,277,632
前払金	0	0	0
流動資産合計	51,709,289	45,705,399	6,003,890
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	10,000,000	46,039,000	△ 36,039,000
(2) 特定資産			
国際会議準備金積立金	6,170,000	6,161,004	8,996
女性・若手会員支援積立金	17,700,000	17,607,223	92,777
表彰事業積立金	2,000,000	1,422,770	577,230
退職給付引当預金	610,000	410,000	200,000
特定資産合計	26,480,000	25,600,997	879,003
(3) その他固定資産			
土地	1,263,000	1,263,000	0
建物	5,367,556	5,649,310	△ 281,754
建物改築・移転等積立金	65,000,000	29,476,000	35,524,000
その他固定資産合計	71,630,556	36,388,310	35,242,246
固定資産合計	108,110,556	108,028,307	82,249
資産合計	159,819,845	153,733,706	6,086,139
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	2,648	△ 2,648
前受会費	14,793,000	15,130,000	△ 337,000
前受金	2,920,000	2,920,000	0
預り金	57,514	93,491	△ 35,977
流動負債合計	17,770,514	18,146,139	△ 375,625
2. 固定負債			
退職給付引当金	610,000	410,000	200,000
固定負債合計	610,000	410,000	200,000
負債合計	18,380,514	18,556,139	△ 175,625
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
女性・若手会員支援積立金	500,000	500,000	0
指定正味財産合計	500,000	500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(500,000)	(500,000)	(0)
2. 一般正味財産	140,939,331	134,677,567	6,261,764
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(46,039,000)	(△36,039,000)
(うち特定資産への充当額)	(25,980,000)	(25,100,997)	(879,003)
正味財産合計	141,439,331	135,177,567	6,261,764
負債及び正味財産合計	159,819,845	153,733,706	6,086,139

正味財産増減計算書

2013(平25)年3月1日から2014(平26)年2月28日まで

1/2

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	672	10,682	△ 10,010
基本財産受取利息	(672)	(10,682)	△ 10,010
② 受取入会金	609,000	639,000	△ 30,000
受取入会金	(609,000)	(639,000)	△ 30,000
③ 受取会費	27,716,000	28,809,520	△ 1,093,520
正会員受取会費	(18,366,000)	(18,973,200)	△ 607,200
学生会員受取会費	(2,042,000)	(2,249,120)	△ 207,120
団体会員受取会費	(2,400,000)	(2,520,000)	△ 120,000
欧文誌購読会員受取会費	(2,208,000)	(2,317,200)	△ 109,200
賛助会員受取会費	(2,700,000)	(2,750,000)	△ 50,000
④ 事業収益	22,616,479	21,021,055	1,595,424
印刷物収入	(14,616,379)	(16,517,455)	△ 1,901,076
大会収入	(6,410,600)	(3,139,000)	3,271,600
広告料	(787,500)	(819,000)	△ 31,500
支部大会収入	(802,000)	(545,600)	256,400
⑤ 受取補助金等	0	0	0
受取補助金	(0)	(0)	0
⑥ 受取助成金	0	0	0
受取助成金	(0)	(0)	0
⑦ 受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	(0)	(0)	0
⑧ 受託収益	1,075,200	0	1,075,200
受託収益	(1,075,200)	(0)	1,075,200
⑨ 雑収入	960,367	1,506,114	△ 545,747
受取利息	(19,571)	(23,790)	△ 4,219
雑収益	(696,089)	(837,072)	△ 140,983
支部雑収入	(244,707)	(645,252)	△ 400,545
経常収益計	52,977,718	51,986,371	991,347
(2) 経常費用			
① 事業費	39,127,417	37,137,631	1,989,786
年次大会開催費	(6,334,488)	(5,173,503)	1,160,985
会誌刊行費	(11,214,155)	(12,425,764)	△ 1,211,609
欧文誌刊行費	(4,259,108)	(3,749,637)	509,471
各種委員会等運営費	(797,588)	(0)	797,588
学術交流費	(20,000)	(0)	20,000
国際交流費	(509,788)	(0)	509,788
事業関係通信運搬費	(192,784)	(204,027)	△ 11,243
事業関係雑費	(189,000)	(257,823)	△ 68,823
農学会等分担金等	(372,050)	(275,750)	96,300
HP管理費	(152,250)	(133,084)	19,166
顕彰費	(750,000)	(590,000)	160,000
女性・若手支援費	(1,065,510)	(980,000)	85,510
国際シンポジウム費	(950,000)	(700,000)	250,000
支部大会開催費	(1,232,083)	(1,175,898)	56,185



科 目	当年度	前年度	増 減
役員報酬	(1,680,000)	(1,680,000)	0
給料	(1,983,360)	(1,935,360)	48,000
法定福利費	(25,738)	(20,500)	5,238
福利厚生費	(293,095)	(277,340)	15,755
臨時雇い賃金	(240,500)	(269,700)	△ 29,200
会議費	(74,838)	(81,021)	△ 6,183
旅費・交通費	(2,333,116)	(2,296,153)	36,963
通信運搬費	(565,769)	(766,482)	△ 200,713
消耗品費	(33,010)	(45,264)	△ 12,254
印刷製本費	(436,556)	(387,181)	49,375
光熱水料費	(85,574)	(84,499)	1,075
修繕費	(100,800)	(100,800)	0
負担費	(47,520)	(47,520)	0
リース料	(527,142)	(432,033)	95,109
業務委託費	(2,372,543)	(2,633,240)	△ 260,697
建物減価償却費	(169,052)	(169,052)	0
退職給付引当金繰入	(120,000)	(246,000)	△ 126,000
② 管理費	7,588,537	8,396,589	△ 808,052
役員報酬	(720,000)	(720,000)	0
給料	(1,322,240)	(1,290,240)	32,000
法定福利費	(17,159)	(13,666)	3,493
福利厚生費	(195,396)	(184,893)	10,503
臨時雇い賃金	(240,500)	(269,700)	△ 29,200
会議費	(299,351)	(324,084)	△ 24,733
旅費・交通費	(1,555,410)	(1,530,769)	24,641
通信運搬費	(141,442)	(191,621)	△ 50,179
消耗品費	(77,023)	(105,615)	△ 28,592
印刷製本費	(109,139)	(96,795)	12,344
光熱水料費	(85,574)	(84,499)	1,075
修繕費	(67,200)	(67,200)	0
負担費	(31,680)	(31,680)	0
リース料	(225,918)	(185,157)	40,761
保険料	(12,320)	(12,320)	0
租税公課	(552,678)	(842,906)	△ 290,228
業務委託費	(1,581,696)	(1,755,493)	△ 173,797
為替差損	(0)	(263,776)	△ 263,776
雑費	(161,109)	(149,473)	11,636
減価償却費	(112,702)	(112,702)	△ 0
退職給付引当金繰入	(80,000)	(164,000)	△ 84,000
経常費用計	46,715,954	45,534,220	1,181,734
当期経常増減額	6,261,764	6,452,151	△ 190,387
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産取崩益	0	0	0
② 固定資産評価益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産積立損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,261,764	6,452,151	△ 190,387
一般正味財産期首残高	134,677,567	128,225,416	6,452,151
一般正味財産期末残高	140,939,331	134,677,567	6,261,764
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等			
助成金収入	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000	500,000	0
指定正味財産期末残高	500,000	500,000	0
III 正味財産期末残高	141,439,331	135,177,567	6,261,764

正味財産増減計算書（内訳表）

2013(平25)年3月1日から2014(平26)年2月28日まで

1/2

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	法人会計	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	0	672	672	10,682	△ 10,010
基本財産受取利息	(0)	(672)	(672)	(10,682)	△ 10,010
② 受取入会金	0	609,000	609,000	639,000	△ 30,000
受取入会金	(0)	609,000	(609,000)	(639,000)	△ 30,000
③ 受取会費	0	27,716,000	27,716,000	28,809,520	△ 1,093,520
正会員受取会費	(0)	(18,366,000)	(18,366,000)	(18,973,200)	△ 607,200
学生会員受取会費	(0)	(2,042,000)	(2,042,000)	(2,249,120)	△ 207,120
団体会員受取会費	(0)	(2,400,000)	(2,400,000)	(2,520,000)	△ 120,000
欧文誌購読会員受取会費	(0)	(2,208,000)	(2,208,000)	(2,317,200)	△ 109,200
賛助会員受取会費	(0)	(2,700,000)	(2,700,000)	(2,750,000)	△ 50,000
④ 事業収益	22,616,479	0	22,616,479	21,021,055	1,595,424
印刷物収入	(14,616,379)	(0)	(14,616,379)	(16,517,455)	△ 1,901,076
大会収入	(6,410,600)	(0)	(6,410,600)	(3,139,000)	3,271,600
広告料	(787,500)	(0)	(787,500)	(819,000)	△ 31,500
支部大会収入	(802,000)	(0)	(802,000)	(545,600)	256,400
⑤ 受取補助金等	0	0	0	0	0
受取補助金	(0)	(0)	(0)	(0)	0
⑥ 受取助成金	0	0	0	0	0
受取助成金	(0)	(0)	(0)	(0)	0
⑦ 受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金	(0)	(0)	(0)	(0)	0
⑧ 受託収益	0	1,075,200	1,075,200	0	1,075,200
受託収益	(0)	(1,075,200)	(1,075,200)	(0)	1,075,200
⑨ 雑収入	0	960,367	960,367	1,506,114	△ 545,747
受取利息	(0)	(19,571)	(19,571)	(23,790)	△ 4,219
雑収益	(0)	(696,089)	(696,089)	(837,072)	△ 140,983
支部雑収入	(0)	(244,707)	(244,707)	(645,252)	△ 400,545
経常収益計	22,616,479	30,361,239	52,977,718	51,986,371	991,347
(2) 経常費用					
① 事業費	39,127,417	0	39,127,417	37,137,631	1,989,786
年次大会開催費	(6,334,488)	(0)	(6,334,488)	(5,173,503)	1,160,985
会誌刊行費	(11,214,155)	(0)	(11,214,155)	(12,425,764)	△ 1,211,609
欧文誌刊行費	(4,259,108)	(0)	(4,259,108)	(3,749,637)	509,471
各種委員会等運営費	(797,588)	(0)	(797,588)	(0)	797,588
学術交流費	(20,000)	(0)	(20,000)	(0)	20,000
国際交流費	(509,788)	(0)	(509,788)	(0)	509,788
事業関係通信運搬費	(192,784)	(0)	(192,784)	(204,027)	△ 11,243
事業関係雑費	(189,000)	(0)	(189,000)	(257,823)	△ 68,823
農学会等分担金等	(372,050)	(0)	(372,050)	(275,750)	96,300
HP管理費	(152,250)	(0)	(152,250)	(133,084)	19,166
顕彰費	(750,000)	(0)	(750,000)	(590,000)	160,000
女性・若手支援費	(1,065,510)	(0)	(1,065,510)	(980,000)	85,510
国際シンポジウム費	(950,000)	(0)	(950,000)	(700,000)	250,000
支部大会開催費	(1,232,083)	(0)	(1,232,083)	(1,175,898)	56,185

科 目	実施事業等会計	法人会計	当年度	前年度	増 減
役員報酬	(1,680,000)	(0)	(1,680,000)	(1,680,000)	0
給料	(1,983,360)	(0)	(1,983,360)	(1,935,360)	48,000
法定福利費	(25,738)	(0)	(25,738)	(20,500)	5,238
福利厚生費	(293,095)	(0)	(293,095)	(277,340)	15,755
臨時雇い賃金	(240,500)	(0)	(240,500)	(269,700)	△ 29,200
会議費	(74,838)	(0)	(74,838)	(81,021)	△ 6,183
旅費・交通費	(2,333,116)	(0)	(2,333,116)	(2,296,153)	36,963
通信運搬費	(565,769)	(0)	(565,769)	(766,482)	△ 200,713
消耗品費	(33,010)	(0)	(33,010)	(45,264)	△ 12,254
印刷製本費	(436,556)	(0)	(436,556)	(387,181)	49,375
光熱水料費	(85,574)	(0)	(85,574)	(84,499)	1,075
修繕費	(100,800)	(0)	(100,800)	(100,800)	0
負担費	(47,520)	(0)	(47,520)	(47,520)	0
リース料	(527,142)	(0)	(527,142)	(432,033)	95,109
業務委託費	(2,372,543)	(0)	(2,372,543)	(2,633,240)	△ 260,697
建物減価償却費	(169,052)	(0)	(169,052)	(169,052)	0
退職給付引当金繰入	(120,000)	(0)	(120,000)	(246,000)	△ 126,000
② 管理費	0	7,588,537	7,588,537	8,396,589	△ 808,052
役員報酬	(0)	(720,000)	(720,000)	(720,000)	0
給料	(0)	(1,322,240)	(1,322,240)	(1,290,240)	32,000
法定福利費	(0)	(17,159)	(17,159)	(13,666)	3,493
福利厚生費	(0)	(195,396)	(195,396)	(184,893)	10,503
臨時雇い賃金	(0)	(240,500)	(240,500)	(269,700)	△ 29,200
会議費	(0)	(299,351)	(299,351)	(324,084)	△ 24,733
旅費・交通費	(0)	(1,555,410)	(1,555,410)	(1,530,769)	24,641
通信運搬費	(0)	(141,442)	(141,442)	(191,621)	△ 50,179
消耗品費	(0)	(77,023)	(77,023)	(105,615)	△ 28,592
印刷製本費	(0)	(109,139)	(109,139)	(96,795)	12,344
光熱水料費	(0)	(85,574)	(85,574)	(84,499)	1,075
修繕費	(0)	(67,200)	(67,200)	(67,200)	0
負担費	(0)	(31,680)	(31,680)	(31,680)	0
リース料	(0)	(225,918)	(225,918)	(185,157)	40,761
保険料	(0)	(12,320)	(12,320)	(12,320)	0
租税公課	(0)	(552,678)	(552,678)	(842,906)	△ 290,228
業務委託費	(0)	(1,581,696)	(1,581,696)	(1,755,493)	△ 173,797
為替差損	(0)	(0)	(0)	(263,776)	△ 263,776
雑費	(0)	(161,109)	(161,109)	(149,473)	11,636
減価償却費	(0)	(112,702)	(112,702)	(112,702)	△ 0
退職給付引当金繰入	(0)	(80,000)	(80,000)	(164,000)	△ 84,000
経常費用計	39,127,417	7,588,537	46,715,954	45,534,220	1,181,734
当期経常増減額	△ 16,510,938	22,772,702	6,261,764	6,452,151	△ 190,387
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
① 固定資産取崩益			0	0	0
② 固定資産評価益			0	0	0
経常外収益計			0	0	0
(2) 経常外費用					
① 固定資産積立損			0	0	0
経常外費用計			0	0	0
当期経常外増減額			0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,510,938	22,772,702	6,261,764	6,452,151	△ 190,387
一般正味財産期首残高	42,144,176	92,533,391	134,677,567	128,225,416	6,452,151
一般正味財産期末残高	25,633,238	115,306,093	140,939,331	134,677,567	6,261,764
II 指定正味財産増減の部					
① 受取補助金等					
助成金収入	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への扱替額	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000	0	500,000	500,000	0
指定正味財産期末残高	500,000	0	500,000	500,000	0
III 正味財産期末残高	26,133,238	115,306,093	141,439,331	135,177,567	6,261,764

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・定額法により実施。残存価格は10%。

#### (2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

#### (3) リース取引の処理方法

該当なし

#### (4) 消費税等の会計処理

税込処理

### 2. 会計方針の変更

なし

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
普通預金	30,000,000	0	30,000,000	0
定期預金	16,039,000	10,000,000	16,039,000	10,000,000
小 計	46,039,000	10,000,000	46,039,000	10,000,000
<b>特定資産</b>				
国際シンポジウム準備積立金	6,161,004	8,996	0	6,170,000
女性・若手会員支援積立金	17,607,223	92,777	0	17,700,000
表彰事業基金積立金	1,422,770	577,230	0	2,000,000
退職給付引当預金	410,000	200,000	0	610,000
小 計	25,600,997	879,003	0	26,480,000
合 計	71,639,997	10,879,003	46,039,000	36,480,000

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
普通預金	0	0	(0)	0
定期預金	10,000,000	(0)	(10,000,000)	(0)
小 計	10,000,000	(0)	(10,000,000)	(0)
<b>特定資産</b>				
国際シンポジウム準備積立金	6,170,000	(0)	(6,170,000)	(0)
女性・若手会員支援積立金	17,700,000	(500,000)	(17,200,000)	(0)
表彰事業基金積立金	2,000,000	(0)	(2,000,000)	(0)
退職給付引当預金	610,000	(0)	(0)	(610,000)
小 計	26,480,000	(500,000)	(25,370,000)	(610,000)
合 計	36,480,000	(500,000)	(35,370,000)	(610,000)

### 5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の評価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	14,230,000	8,862,444	5,367,556
合 計	14,230,000	8,862,444	5,367,556

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	6,753,909	0	6,753,909
合 計	6,753,909	0	6,753,909

8. 保証債務等の偶発債務

なし

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金		0	0	0	0	
助成金		0	0	0	0	
合 計		0	0	0	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	0
経常外収益への振替額	0
合 計	0

11. 重要な後発事象

なし

12. その他

実施事業資産

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価
土地	1,263,000	7,396,502
建物	5,367,556	5,367,556

土地は固定資産評価額をもって時価とし、建物は帳簿価額をもって時価としている。

**附属明細書**  
2014年(平26)年2月28日現在

1. 基本財産及び特定資産の明細

『財務諸表に対する注記』の通り

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	410,000	200,000	0	0	610,000

財 産 目 録  
2014(平26)年2月28日現在

1/2

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
<b>現金預金</b>			
現金手許有高普通預金		運転資金として	206,636
	みずほ銀行本郷支店(普)-1	運転資金として	2,133,405
	みずほ銀行(養賢堂)本郷支店(普)-2	運転資金として	9,619,738
	みずほ銀行本郷支店(普)-3	運転資金として	3,671,247
	三菱東京UFJ銀行本郷支店(普)-4	運転資金として	203,923
郵便振替貯金		運転資金として	24,942,280
支部現金預金			3,668,151
(1) 北海道支部		運転資金として	( 480,219 )
(2) 東北支部		運転資金として	( 715,993 )
(3) 関東支部		運転資金として	( 239,530 )
(4) 中部支部		運転資金として	( 342,988 )
(5) 関西支部		運転資金として	( 720,631 )
(6) 九州支部		運転資金として	( 1,168,790 )
現金預金合計			44,445,380
預け金			0
預け金合計			0
仮払金			500,000
(1) 年次大会			10,000
(2) 仮払交通費			510,000
仮払金合計			510,000
未収金			2,200,000
(1) 会費(団体会員)		12年度20,000円, 13年度2,180,000円	369,720
(2) 会誌投稿料・別刷代		13年度 369,720円	0
(3) 欧文誌委託販売			4,058,189
(4) 欧文誌投稿料・別刷代		13年度 4,058,189円	126,000
(5) 広告料		13年度 126,000円	0
(6) 講演要旨集			0
未収金合計			6,753,909
<b>流動資産合計</b>			<b>51,709,289</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
基本財産合計	みずほ銀行本郷支店(定)-1		10,000,000
			10,000,000
<b>特定資産</b>			
国際会議準備金積立金	みずほ銀行本郷通支店(定)-2		6,170,000
			( 6,170,000 )
女性・若手会員支援事業積立金	みずほ銀行本郷支店(定)-3		17,700,000
			( 17,700,000 )
表彰事業積立金	みずほ銀行本郷支店(定)-4		2,000,000
			( 2,000,000 )
退職給付引当積立預金	みずほ銀行本郷支店(定)-5		610,000
			( 610,000 )
特定資産合計			26,480,000

次頁(2/2)に続く

2/2 前頁(1/2)からの続き

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産			
土地	文京区本郷6-26-10-202(16.38㎡)	学会事業の施設に使用している	1,263,000
建物	文京区本郷6-26-10-202(56.64㎡)	学会事業の施設に使用している	5,367,556
建物改築・移転等積立金			65,000,000
その他固定資産合計	みずほ銀行本郷支店(定)-6		(65,000,000)
固定資産合計			71,630,556
資産合計			108,110,556
流動負債			
未払金			0
前受会費		2014年度以降分会費	14,793,000
前受金			2,920,000
(1) 講演要旨集			(0)
(2) 欧文誌委託販売		2014年分欧文誌委託販売代	(2,920,000)
預り金		源泉税・社会保険1月~2月分	57,514
流動負債合計			17,770,514
固定負債			
(1) 退職給付引当金			610,000
負債合計			18,380,514
正味財産			141,439,331



【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【25年度(2013/3/1 から 2014/2/28 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	134,846,045円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3))	32,627,514円
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	16,116,576円
(2)当該事業年度の公益目的支出の額	39,127,417円
(3)当該事業年度の実施事業収入の額	22,616,479円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	102,218,531円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注	
計画作成時点の見込みに比べ、雑1における公益目的支出の額が見込みを下回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を下回ったものである。なお、公益目的支出計画の実施期間があと4年間ある一方、公益目的収支差額の計画額との差額は13,729,286円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間に関しては影響がないと考える。	

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1)計画上の完了見込み	平成30年2月28日
	(2)(1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	134,846,045円	134,846,045円	134,846,045円	134,846,045円	134,846,045円
公益目的収支差額	23,178,400円	16,116,576円	48,356,800円	32,627,514円	89,535,200円
公益目的支出の額	43,436,400円	37,137,631円	43,436,400円	39,127,417円	43,436,400円
実施事業収入の額	20,258,000円	21,021,055円	20,258,000円	22,616,479円	20,258,000円
公益目的財産残額	111,667,645円	118,729,469円	88,488,245円	102,218,531円	65,310,845円

注:前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

2014年3月14日

## 監査報告書

一般社団法人 日本土壌肥料学会  
会長 小崎 隆 殿

監事 松本 聡 

監事 上沢正志 

私たち監事は、2013年3月1日から2014年2月28日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

#### (3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

## 第 2 号議案 2014 年度事業計画および収支予算案

### I. 2014（平成 26）年度事業計画

#### 1. 定期刊行物および資料の刊行

##### (1) 定期刊行物

日本土壌肥科学雑誌（第 85 巻第 2 号～第 6 号および第 86 巻第 1 号の計 6 冊、A4 判、計 660 頁、3,000 部）、SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION (Vol.60, No.2～No.6, Vol.61, No.1 の計 6 冊、A4 判、計 1,008pp.) および 2014 年度東京大会に際して日本土壌肥科学会講演要旨集（第 60 集、A4 判、300 頁、900 部）を刊行する。

##### (2) その他の刊行物

学会編シンポジウムシリーズとして、「土壌における界面電気現象と農業・環境～基礎から応用まで～（仮題）」を博友社より刊行する。

#### 2. 講演会および研究会等の開催、支援

##### (1) 「土と肥料」の講演会

2014 年 4 月 4 日、総会終了後に、学士会館において「土と肥料」の講演会を開催する。テーマを「作物の高収量・高品質生産をめざして—最近における国内外の肥料事情」とし、講演者と演題は日比 健氏「世界の肥料原料需給動向」および吉羽雅昭氏「登録・検査から見た最近の国内肥料事情」である。なお、本講演会は日本学術会議の後援を得て実施する。

##### (2) 2014 年度年次大会

9 月 9 日～11 日、東京農工大学小金井キャンパスにおいて年次大会を開催する。同期間中、一般講演、ポスターセッション、シンポジウムは 9 日（火）から 11 日（木）、学会賞等受賞式、受賞記念講演、懇親会は 10 日（水）に行う。

シンポジウムのテーマについては、名古屋大会と同じく会員に公募し、これを基に部門長会議で検討して設定することとしている。また、大会運営委員会では、公開シンポジウム 1 件を予定している。

また、学会賞等授与式では、第 59 回日本土壌肥科学会賞 3 名、第 19 回日本土壌肥科学会技術賞 1 名、第 32 回日本土壌肥科学会奨励賞 5 名、第 3 回日本土壌肥科学会技術奨励賞 1 名、第 3 回日本土壌肥科学会貢献賞 1 名に各賞を授与するとともに、受賞者の記念講演を行い、論文賞および SSPN Award 受賞者については受賞記念ポスターを展示する。

##### ・第 59 回日本土壌肥科学会賞受賞者

太田寛行：土壌細菌の分類および群集解析に関する研究

加藤英孝：黒ボク土におけるイオン吸着・移動過程に関する研究

平館俊太郎：核磁気共鳴法を利用した土壌中における元素動態の解明

- ・第 19 回日本土壌肥料学会技術賞受賞者  
内山知二：植物を介した土壌改良技術の評価と応用
- ・第 32 回日本土壌肥料学会奨励賞受賞者  
伊ヶ崎健大：西アフリカ・サヘル地域における砂漠化の現状評価とそれに基づく省力的対処技術の開発および普及  
池谷康祐：各種分解・分光分析による土壌フミン酸の化学構造解析  
片柳薫子：観測地と数理モデルに基づく農林地生態系温室効果ガス排出量の広域評価  
神谷岳洋：植物の無機元素の輸送と耐性の分子機構の解明  
高田裕介：広域的なデジタル土壌情報の整備とその利活用法に関する研究
- ・第 3 回日本土壌肥料学会技術奨励賞受賞者  
山本幸洋：農耕地土壌における農薬の動態解明と農薬による硝酸化成阻害に関する研究
- ・第 3 回日本土壌肥料学会貢献賞受賞者  
藤原基次：土壌・作物体分析機器の開発・提供による土壌肥料関連分野の研究  
発展支援ならびに長年にわたる学会活動支援
- ・日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞者  
坂口 敦・加藤英孝・家田浩之・中野恵子：土壌特性・土層構成に基づく利根川下流域内農耕地における硝酸イオンの地下水到達時間の面的推定  
土肥誌第 84 巻 2 号、90-99 (2013)  
藤原伸介・澤田寛子・田中福代・大脇良成・藤山正史・渡邊大治：長崎県水稻葉枯症－水稻への窒素負荷と葉枯障害との関係－ 土肥誌第 83 巻 6 号、637-646 (2012)
- ・SSPN Award 受賞者  
Mizuhiko NISHIDA・Hiroyuki SEKIYA・Koji YOSHIDA：Status of paddy soils as affected by paddy rice and upland soybean rotation in northeast Japan, with special reference to nitrogen fertility  
Soil Sci. Plant Nutr., 59(2), 208-217 (2013)

### (3) 土壌教育委員会

- ・科学技術週間のイベント（子供科学教室「光る泥だんごをつくろう！」）を東京農工大学科学博物館（東京都小金井市）において実施する（2014.4.20）。
- ・東京大会において高校生ポスター発表会を実施する（2014.9.9～11）。
- ・教員研修事業を実施する（時期・場所：未定）。
- ・自然観察の森に土壌断面の説明等が書かれた野外観察板を設置し、研修会を行う（1 か所、場所未定）。
- ・日本農芸化学会関東支部主催で高校生対象に開催される「バイオサイエンススクール」に協力する（日本大学 2014.8.6）。
- ・土壌教育プログラムの内容を DVD や YouTube 等を通じて発信する。

#### (4) 支部大会等

- ・北海道支部：第 17 回日本土壌肥料学会北海道支部野外巡検(8 月下旬 幌延町、音威子府または雨竜町)および平成 26 年度秋季支部大会・支部総会(2014.12.3 道民活動支援センターかでの 2・7)を主催するとともに、第 61 回北海道土壌肥料懇話会シンポジウム(2014.12.4 北海道大学学術交流会館)を共催する。また、第 1 回支部評議員会(2014.6 月上旬 北海道大学)、第 2 回支部評議員会(2014.12.3 道民活動支援センターかでの 2・7)を開催する。
- ・東北支部：東北支部大会、支部役員会および支部総会を開催する(2014.6～8 月 場所未定)。
- ・関東支部：関東支部山梨大会、支部幹事会および支部総会を開催する(2014.12. 山梨大学甲府キャンパス)。
- ・中部支部：第 75 回中部支部総会、第 94 回支部例会を開催する(2014.11 福井県)。また、第 154 回支部評議員会(2014.5 名古屋市)、第 155 回支部評議員会(2014.11 福井県)を開催する。
- ・関西支部：関西支部講演会並びに関西土壌肥料協議会シンポジウムを開催する(2014.12 初旬 高松市)。
- ・九州支部：九州支部春季例会、支部賞選考委員会、第 1 回支部常議員会、支部総会並びに若手討論会を開催する(2014.5.8～9 宮崎大学)。また、秋季例会を開催する(日時、場所等未定)。

#### 3. 研究の奨励および研究業績の表彰

定款および細則に基づき、第 60 回日本土壌肥料学会賞、第 20 回同技術賞、第 33 回同奨励賞、第 4 回同技術奨励賞、第 4 回同貢献賞、論文賞、SSPN Award など顕著な業績を挙げた者を表彰する。

#### 4. 内外の研究者、技術者、他学会等との連絡および協力

定期刊行物の国内外との交換、国内関連学会等と共催の研究討論会等を行い、学術交流・国際交流の強化を図る。

- ・第 27 回環境工学連合講演会(2014.5.12 日本学術会議講堂)を共催する。
- ・WCSS(2014.6.8～13 Jeju 韓国)に代表者を派遣する。
- ・WCSS 2014 プレコンgress(2014.6.2-8)を共催する。
- ・第 51 回アイソトープ・放射線研究発表会(2014.7.7～9 東大弥生講堂)を共催する。
- ・日本農芸化学会関東支部主催「バイオサイエンススクール」を共催する(2014.8.6)。
- ・2014 地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展(2014.10.15-17 東京ビッグサイト)を協賛する。
- ・第 11 回エコバランス国際会議(2014.10.27-30 つくば市)を協賛する。
- ・エコプロダクツ 2014(2014.12)に出展する。
- ・2015 国際土壌年特別イベントの検討を開始する。

## 5. 本学会の委員会活動

- ・企画委員会：総会終了後に開催する「土と肥料」の講演会を企画する。
- ・事務所移転推進委員会：2014年度内に事務所の移転を実施する。
- ・広報委員会：学会ホームページのさらなる改善を図る。また、パンフレット等を作成する。

## 6. その他、本学会の目的達成のための事業

- ・外部からの顕彰および研究助成の推薦依頼に対応する。
- ・規程に基づき、若手正会員及び学生会員の海外学会参加渡航費の一部を支援する。
- ・各理事担当の年間業務を整理し、円滑化を図る。

## Ⅱ. 2014(平成 26)年度収支予算案

### 一般正味財産増減の部

経常増減の部の経常収益は、前年度予算額よりも 256 万円減の 5,216 万円を見込んでいる。③受取会費／正会員受取会費は前年度予算額よりも 300 万円減の 1,900 万円の見込みである。④事業収益／会誌刊行等事業収益は、欧文誌投稿料・別刷代等の増加が予測されるため 1,296 万円の見込みである。同／大会収入は、参加者増の予想により 752 万円の見込みである。⑦受取寄付金には、指定正味財産から 50 万円を振替える。当年度も⑧受託収入が 76 万円見込まれる。

経常増減の部の経常費用は、前年度予算額よりも 182 万円増の 5,978 万円を見込んでいる。①事業費／各種委員会等運営費には前年度予算額よりも 69 万円増の 160 万円を計上した。事務所移転を視野に、②管理費／事務所賃料等を新設して 300 万円を計上した（うち、180 万円は事業費として実施事業会計に計上）。同／業務委託費は前年度予算額よりも 300 万円減の 400 万円とした（うち、240 万円は事業費として実施事業会計に計上）。これは、前年度予算では業務委託費に計上していた移転費用 300 万円を経常増減の部から省いたことによる。

これらのことにより、当期経常増減額は 762 万円の赤字を見込んでいる。

一方、経常外増減の部に、経常外費用の雑損失として事務所移転費用 300 万円を計上した。

### 指定正味財産増減の部

過年度寄付金 50 万円を一般正味財産に振替えることにより、指定正味財産は 0 円となる。

(一社) 日本土壌肥料学会2014年度収支予算書(増減ベース) (内訳表) (案)

2014(平成26)年3月1日から2015(平成27)年2月28日まで

1/2

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	法人会計	予算額	前年度予算額	増 減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>						
<b>1. 経常増減の部</b>						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	0	1,500	1,500	2,000	△ 500	
基本財産受取利息	(0)	(1,500)	(1,500)	(2,000)	△ 500	
② 受取入会金	0	600,000	600,000	600,000	0	
受取入会金	(0)	(600,000)	(600,000)	(600,000)	0	3,000円×200人
③ 受取会費	0	28,930,000	28,930,000	32,050,000	△ 3,120,000	
正会員受取会費	(0)	(19,000,000)	(19,000,000)	(22,000,000)	△ 3,000,000	10,000円×1,900人
学生会員受取会費	(0)	(1,800,000)	(1,800,000)	(1,800,000)	0	6,000円×300人
団体会員受取会費	(0)	(2,800,000)	(2,800,000)	(2,800,000)	0	20,000円×140団体
欧文誌購読会費	(0)	(2,580,000)	(2,580,000)	(2,700,000)	△ 120,000	6,000円×430人
賛助会員受取会費	(0)	(2,750,000)	(2,750,000)	(2,750,000)	0	50,000円×55口
④ 事業収益	21,284,000	0	21,284,000	20,057,000	1,227,000	
会誌刊行等事業収益	(12,964,000)	(0)	(12,964,000)	(12,280,000)	684,000	
会誌委託販売	(1,200,000)	(0)	(1,200,000)	(1,200,000)	0	
会誌投函料・別刷り代等	(2,700,000)	(0)	(2,700,000)	(2,700,000)	0	85(2)~86(1)
会誌バックナンバー等	(10,000)	(0)	(10,000)	(10,000)	0	
欧文誌委託販売	(3,500,000)	(0)	(3,500,000)	(3,500,000)	0	Taylor & Francis
欧文誌投函料・別刷り代等	(5,444,000)	(0)	(5,444,000)	(4,640,000)	804,000	80(2)~81(1)
欧文誌バックナンバー等	(10,000)	(0)	(10,000)	(10,000)	0	
講演要旨集(大会時外)	(0)	(0)	(0)	(15,000)	△ 15,000	バックナンバー等
その他印刷物	(0)	(0)	(0)	(5,000)	△ 5,000	株式会社印税
出版物印税	(100,000)	(0)	(100,000)	(200,000)	△ 100,000	
大会収入	(7,520,000)	(0)	(7,520,000)	(6,977,000)	543,000	東京大会運営費予算案に基づく
参加料	(3,800,000)	(0)	(3,800,000)	(3,597,000)	203,000	
発表料	(570,000)	(0)	(570,000)	(580,000)	△ 10,000	
講演要旨集(大会時)	(3,150,000)	(0)	(3,150,000)	(2,800,000)	350,000	
広告料	(800,000)	(0)	(800,000)	(800,000)	0	
支部大会収入	(0)	(0)	(0)	(0)	0	
⑤ 受取補助金等	0	0	0	0	0	
受取補助金	(0)	(0)	(0)	(0)	0	
⑥ 受取助成金	0	0	0	0	0	
受取助成金	(0)	(0)	(0)	(0)	0	
⑦ 受取寄付金	500,000	0	500,000	0	500,000	
受取寄付金	(0)	(0)	(0)	(0)	0	
受取寄附金置替額	(500,000)	(0)	(500,000)	(0)	500,000	前年度寄付金の若手育成への活用 前年度正味財産から一般正味財産への振替額
⑧ 受託収入	0	756,000	756,000	1,915,200	△ 1,159,200	
受託金	(0)	(756,000)	(756,000)	(1,915,200)	△ 1,159,200	首都大学東京より
⑨ 雑収入	0	90,000	90,000	95,000	△ 5,000	
受取利息	(0)	(20,000)	(20,000)	(25,000)	△ 5,000	
雑収益	(0)	(70,000)	(70,000)	(70,000)	0	情報システム研究機構運営金、他
支部雑収入	(0)	(0)	(0)	(0)	0	
経常収益計	21,784,000	30,377,500	52,181,500	54,719,200	△ 2,537,700	
(2) 経常費用						
① 事業費	49,864,590	0	49,864,590	48,537,581	1,327,009	
年次大会諸費	(7,494,036)	(0)	(7,494,036)	(7,373,181)	120,855	東京大会運営費予算案に基づく
会場費	(971,000)	(0)	(971,000)	(1,183,636)	△ 212,636	
人件費	(1,032,000)	(0)	(1,032,000)	(950,000)	72,000	学生アルバイト
運営費	(1,116,344)	(0)	(1,116,344)	(890,000)	226,344	機材、運営諸費用
年次大会管理費	(2,593,448)	(0)	(2,593,448)	(2,570,620)	22,828	受付Web等
大会関係印刷費	(1,781,244)	(0)	(1,781,244)	(1,768,925)	12,319	講演要旨集
会誌刊行費	(13,110,000)	(0)	(13,110,000)	(13,200,000)	△ 90,000	85(2)~88(1)
印刷製本費	(10,000,000)	(0)	(10,000,000)	(10,000,000)	0	
送信運搬費	(2,000,000)	(0)	(2,000,000)	(2,000,000)	0	
編集費	(1,110,000)	(0)	(1,110,000)	(1,200,000)	△ 90,000	
欧文誌刊行費	(5,310,000)	(0)	(5,310,000)	(5,310,000)	0	80(2)~81(1)
印刷製本費	(3,600,000)	(0)	(3,600,000)	(3,600,000)	0	
送信運搬費	(10,000)	(0)	(10,000)	(10,000)	0	
編集費	(1,700,000)	(0)	(1,700,000)	(1,700,000)	0	
各種委員会等運営費	(1,600,000)	(0)	(1,600,000)	(690,000)	910,000	土壌学委員会、広報費(エコプロダクト出版)、他
支部交付金	(0)	(0)	(0)	(0)	0	
学術交流費	(100,000)	(0)	(100,000)	(100,000)	0	土と肥料の講演会
国際交流費	(800,000)	(0)	(800,000)	(1,000,000)	△ 200,000	ICSS会長ら派遣
事業関係送信運搬費	(200,000)	(0)	(200,000)	(200,000)	0	
事業関係雑費	(200,000)	(0)	(200,000)	(280,000)	△ 80,000	三嶋梱包
事業関係業務委託費	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)	(800,000)	200,000	SSPR放射線特異号英文校閲
農学会等分組金等	(270,000)	(0)	(270,000)	(270,000)	0	日本農学会分組金、日本学術協力財団
IP管理費	(400,000)	(0)	(400,000)	(400,000)	0	
図形費	(1,010,000)	(0)	(1,010,000)	(1,010,000)	0	学会賞状
女性・若手支援費	(1,660,000)	(0)	(1,660,000)	(1,500,000)	160,000	奨励賞、旅費支援、若手の会他
国際シンポジウム費	(950,000)	(0)	(950,000)	(950,000)	0	WCSSアレンジャーレスターシップ支援
支部大会関係費	(1,500,000)	(0)	(1,500,000)	(1,500,000)	0	

次頁に続く



科 目	実施事業等会計	法人会計	予算額	前年度予算額	増 減	備考
役員報酬	(1,660,000)	(0)	(1,660,000)	(1,660,000)		
給料	(2,160,000)	(0)	(2,160,000)	(2,040,000)		
法定福利費	(90,000)	(0)	(90,000)	(90,000)		
福利厚生費	(360,000)	(0)	(360,000)	(360,000)		
臨時雇い賃金	(450,000)	(0)	(450,000)	(450,000)		
会議費	(76,454)	(0)	(76,454)	(100,000)		
旅費・交通費	(2,700,000)	(0)	(2,700,000)	(2,700,000)		
通信運送費	(800,000)	(0)	(800,000)	(800,000)		
什器備品費	(90,000)	(0)	(90,000)	(90,000)		
消耗品費	(120,000)	(0)	(120,000)	(120,000)		
印刷製本費	(480,000)	(0)	(480,000)	(320,000)		
事務所賃料等	(1,800,000)	(0)	(1,800,000)	(75,000)		
光熱水料費	(75,000)	(0)	(75,000)	(0)		
修繕費	(120,000)	(0)	(120,000)	(120,000)		
負担費	(46,800)	(0)	(46,800)	(46,800)		
リース料	(560,000)	(0)	(560,000)	(504,000)		
業務委託費	(2,400,000)	(0)	(2,400,000)	(4,200,000)		
建物減価償却費	(168,600)	(0)	(168,600)	(168,600)		
退職給付引当金繰入	(83,700)	(0)	(83,700)	(90,000)		
② 管理費	0	9,915,216	9,915,216	9,424,600	490,616	
役員報酬	(0)	(720,000)	(720,000)	(720,000)	0	
給料	(0)	(1,440,000)	(1,440,000)	(1,360,000)	80,000	
法定福利費	(0)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	0	労働保険
福利厚生費	(0)	(240,000)	(240,000)	(240,000)	0	健保
臨時雇い賃金	(0)	(450,000)	(450,000)	(450,000)	0	
会議費	(0)	(305,816)	(305,816)	(250,000)	55,816	
総会	(0)	(240,000)	(240,000)	(200,000)	40,000	
理事会	(0)	(16,000)	(16,000)	(30,000)	△ 14,000	
部門長会	(0)	(25,816)	(25,816)	(0)	25,816	
選考委員会	(0)	(8,000)	(8,000)	(0)	8,000	
選挙管理委員会	(0)	(0)	(0)	(0)	0	
その他会議費	(0)	(16,000)	(16,000)	(20,000)	△ 4,000	
旅費・交通費	(0)	(1,800,000)	(1,800,000)	(1,800,000)	0	
通信運送費	(0)	(200,000)	(200,000)	(200,000)	0	
什器備品費	(0)	(210,000)	(210,000)	(210,000)	0	移転先での新設分
消耗品費	(0)	(280,000)	(280,000)	(280,000)	0	
印刷製本費	(0)	(120,000)	(120,000)	(80,000)	40,000	総会資料、規程集
事務所賃料等	(0)	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)	1,200,000	家賃6月分、保証金等
光熱水料費	(0)	(75,000)	(75,000)	(75,000)	0	
修繕費	(0)	(80,000)	(80,000)	(80,000)	0	
負担費	(0)	(31,200)	(31,200)	(31,200)	0	
リース料	(0)	(240,000)	(240,000)	(216,000)	24,000	PC、FAX等
保険料	(0)	(15,000)	(15,000)	(20,000)	△ 5,000	
租税公課	(0)	(600,000)	(600,000)	(300,000)	300,000	消費税、固定資産税、地
業務委託費	(0)	(1,600,000)	(1,600,000)	(2,800,000)	△ 1,200,000	会員管理、会計業務、移転関連
雑費	(0)	(80,000)	(80,000)	(80,000)	0	
退職金	(0)	(0)	(0)	(0)	0	
建物減価償却費	(0)	(112,400)	(112,400)	(112,400)	0	
退職給付引当金繰入	(0)	(55,800)	(55,800)	(60,000)	△ 4,200	
経常費用計	49,864,590	9,915,216	59,779,806	57,962,181	1,817,625	
当期経常増減額	△ 28,080,590	20,462,284	△ 7,618,306	△ 3,242,981	△ 4,375,325	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
① 雑収益			0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用						
① 雑損失	0	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	保証費用(引越、工事、役員報酬滞り等発生)
経常外費用計	0	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	
当期経常外増減額	0	△ 3,000,000	△ 3,000,000	0	△ 3,000,000	
当期一般正味財産増減額	△ 28,080,590	17,462,284	△ 10,618,306	△ 3,242,981	△ 7,375,325	
一般正味財産期首残高	25,633,238	116,306,093	140,939,331	128,212,543	12,726,788	
一般正味財産期末残高	△ 2,447,352	132,768,377	130,321,025	124,969,562	5,351,463	
II 指定正味財産増減の部						
① 受取補助金等						
助成金収入				0	0	
受取寄付金				0	0	
一般正味財産への振替額	500,000		500,000	0	500,000	過年度寄付金の使用
当期指定正味財産増減額	△ 500,000	0	△ 500,000	0	△ 500,000	
指定正味財産期首残高	500,000	0	500,000	500,000	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	500,000	△ 500,000	
III 正味財産期末残高	△ 2,447,352	132,768,377	130,321,025	125,469,562	4,851,463	

### 第3号議案 名誉会員の推薦

松本聡会員は44年の長きにわたり、鳥取大学、東京大学及び秋田県立大学において土壌学に関する教育研究に精励し、優れた研究業績をあげるとともに、土壌肥料学分野へ多くの研究者を育成した。松本会員は砂漠化対策、酸性土壌やアルカリ・塩類土壌などの問題土壌の改良、土壌流失の防止、有害物質に汚染された土壌の修復など、土壌環境保全研究の第一人者である。

政府機関においては1999年から環境省中央環境審議会委員として土壌農薬部会を担当し、2001年からは土壌農薬部会長に就任した。この他、農林水産省独立行政法人評価委員会委員長、農業分科会会長などを務めた。また、全国環境保全型農業推進会議会長を務めた他、現在、一般財団法人日本土壌協会会長として土地生産力の増進、土壌の健全化の促進、環境保全型農業の推進に貢献している。

日本土壌肥料学会においては1989年～1990年まで理事、1990年～1991年まで会誌編集委員長、1997年～1998年まで将来計画委員会委員長、1998～1999年まで会長を務めた。2011年からは監事として、学会の財産状況や理事の業務執行の状況などについての監査を行うなど、本会の発展に大きく貢献している。

以上の功績により、2013年度第6回理事会において、定款第5条2(4)に基づき松本聡会員を名誉会員に推薦することを決定したので、承認をお願いしたい。

## 参考

### 2014 年度役員、代議員等一覧

#### 役員（19名）

会長	小崎 隆
副会長	間藤 徹・安西徹郎
常務理事	原田靖生
会計担当理事	野口 章・渡邊浩一郎
会誌担当理事	相崎万裕美・須藤重人
欧文誌担当理事	中西啓仁・原田直樹
渉外担当理事	矢内純太・大塚重人・白戸康人
部門長会議担当理事	徳田進一
広報担当理事	木村園子ドロテア・和崎 淳
教育担当理事	田中治夫
監事	松本 聰・上沢正志

#### 代議員（100名）

##### （北海道支部 定員 11名）

大崎 満、奥村正敏、加藤 淳、三枝俊哉、志賀弘行、信濃卓郎、谷 昌幸、中津智史、波多野隆介、日笠裕治、松中照夫

##### （東北支部 定員 11名）

青山正和、安藤 豊、伊藤豊彰、太田 健、金田吉弘、木村和彦、齋藤雅典、佐藤 孝  
高橋 正、西田瑞彦、牧野 周

##### （関東支部 定員 40名）

荒尾知人、大山卓爾、小川吉雄、小原 洋、加藤直人、加藤英孝、金子真司、金子文宜  
上山紀代美、亀和田國彦、川東正幸、神山和則、木村 武、後藤逸男、新町文絵、隅田裕明  
関本 均、妹尾啓史、高橋正通、高橋令二、竹迫 紘、谷山一郎、豊田剛己、鳥山和伸  
長坂克彦、長谷川功、東 照雄、樋口恭子、平井英明、平館俊太郎、藤原俊六郎、藤原 徹  
前田良之、宮下清貴、三輪睿太郎、八木一行、山口紀子、横山 正、吉川省子、米山忠克

##### （中部支部 定員 12名）

浅川 晋、磯井俊行、岡崎正規、小杉 徹、小山博之、三枝正彦、鮫島玲子、瀧 勝俊  
水野隆文、村瀬 潤、森田明雄、渡邊 彰

##### （関西支部 定員 17名）

阿江教治、石橋英二、岩崎貢三、内山知二、河野憲治、小林 優、櫻井克年、実岡寛文  
杉本敏男、藤嶽暢英、藤山英保、舟川晋也、馬 建録、増永二之、山本定博、山本洋子  
渡辺和彦

##### （九州支部 定員 9名）

小田原孝治、草場 敬、久保寺秀夫、佐伯雄一、境 雅夫、樗木直也、古江広治  
山川武夫、和田信一郎

## 部門長

(第1部門) 石黒宗秀                      (第2部門) 渡邊 彰                      (第3部門) 早津雅仁  
(第4部門) 藤原 徹                      (第5部門) 三浦憲蔵                      (第6部門) 藤井弘志  
(第7部門) 伊藤豊彰                      (第8部門) 原田久富美                      (第9部門) 東 照雄

## 支部長

北海道 筒木 潔                      東北 齋藤雅典                      関東 犬伏和之  
中部 渡邊 彰                      関西 野村美加                      九州 和田信一郎

## 会誌編集委員会

委員長 齋藤雅典

常任編集委員 石橋英二、上菌一郎、角田憲一、鎌田 淳、佐藤 孝、七夕小百合  
長岡一成、南雲芳文、西尾 隆、野副卓人、藤原英司、眞家永光

地域担当編集委員

北海道 岡 紀邦／加藤 淳／谷 昌幸                      東北 関矢博幸／中川進平／金田吉弘  
関東 駒田充生／八楨 敦／八島未和                      中部 棚橋寿彦／稻原 誠／岡村 穰  
関西 内山知二／赤井直彦／野村美加                      九州 草場 敬／脇門英美／和田信一郎

## 欧文誌編集委員会

委員長 犬伏和之      副委員長 林健太郎、舟川晋也

国内編集委員 石黒宗秀、西村 拓、川東正幸、平館俊太郎、藤嶽暢英、松永俊朗

齋藤勝晴、橋床泰之、鮫島玲子、坂本一憲、豊田剛己、森本 晶、藤原 徹、大竹憲邦  
大津直子、小林 優、石川 覚、中西啓仁、岩崎貢三、三浦憲蔵、久保寺秀夫、西田瑞彦  
矢内純太、藤井弘志、伊藤豊彰、高橋智紀、平井敬三、程 為国、白戸康人、武田 晃  
原田久富美、高階史章、東 照雄

海外編集委員 Roland Buresh、Randy A. Dahlgren、Yahai Lu、G.N. Magesan

Rachid Serraj、Sumitra Poovarodom、Xiaoyuan Yan、Jae E. Yang、Kyung-Sook Whang

## 土壌教育委員会

委員長 平井英明      副委員長 田村憲司

委員 菅野均志、福田 直、安西徹郎、筒木 潔、松山信彦、赤羽幾子（事務局長）  
瀧 勝俊、藤間 充、森 裕樹

## 2014年度年次大会（東京）運営委員会

運営委員長：鈴木創三、事務局長：横山 正、副事務局長：豊田剛己

運営委員：大津直子、橋本洋平、木村園子ドロテア、田中治夫、藤井義晴、松村昭治、岡崎 伸  
関本 均、平井英明、飯山一平、太田寛行、黒田久雄、小松崎将一、西澤智康、益永利久  
松浦里江、坂本浩介